

2011年5月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 W O W O W
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 和 崎 信 哉
(コード番号 4839 東証第一部)

平成 23 年 3 月 期 (2010 年 度) 決 算 の お 知 ら せ

当社は、平成 23 年 5 月 13 日開催の取締役会において、平成 23 年 3 月 期 (2010 年 度) 決 算 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日) を確定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細は別紙の通りです。

【問合せ先】 (マスコミ関係) 広報部 TEL03(4330)8080
(IR関係) IR 経 理 部 TEL03(4330)8089

平成 23 年 3 月期（2010 年度）決算に関するご説明

① 平成 23 年 3 月期（2010 年度）決算の加入状況

平成 23（2011）年 7 月に予定される放送の完全デジタル化以降も No. 1 プレミアム・ペイチャンネルであり続けるため、引き続きオリジナルコンテンツの強化及び話題性のある質の高い番組編成に努めました。

オリジナルドラマ製作プロジェクト「ドラマ W」では、連続ドラマ W「パンドラⅡ 飢餓列島」、「マークスの山」、東野圭吾「幻夜」、「CO 移植コーディネーター」のほか、ドラマ W を 7 本放送しました。平成 22（2010）年 9 月に放送したドラマ W スペシャル「なぜ君は絶望と闘えたのか」は、平成 22 年度（第 65 回）文化庁芸術祭のテレビ部門・ドラマの部で大賞に選出されました。

話題性のある番組としては、映画「アバター」、マイケル・ジャクソン特集、桑田佳祐の特別番組やグラウンドスラム 4 大会をはじめとした世界トップレベルのテニスを年間を通じて放送したことなどがお客さまの支持を集め、新規加入を牽引しました。

営業施策としては、BS アナログ放送が終了する平成 23（2011）年 7 月に向けて、アナログ放送をご契約のお客さまにダイレクトメール、電話などでデジタル放送のご契約を働きかけております。平成 22（2010）年 10 月 1 日からは、アナログ放送画面に「アナログ」ロゴを常時表示して注意を喚起しているほか、デジタル放送が視聴できる環境にあるアナログ契約のお客さまにデジタル放送をお試し視聴いただくなど、デジタル移行のための施策を行いました。

新たな伝送路での展開としては、平成 22（2010）年 6 月より「スカパー！HD」のプラットフォーム上でデジタル放送をスタートし、平成 22（2010）年 10 月より IPTV サービス「ひかり TV」における放送を開始しました。

その結果、当連結会計年度の新規加入件数は、823,291 件（前期比 9.2%増、うちデジタル 780,011 件）、解約件数は 802,056 件（同 8.4%増、うちデジタル 667,381 件）となり、新規加入件数から解約件数を差し引きました正味加入件数は 21,235 件の増加（前期比 46.6%増）となりました。当連結会計年度の累計正味加入件数は 2,511,701 件（同 0.9%増、うちデジタル 2,362,340 件）となりました。

② 平成 23 年 3 月期（2010 年度）決算の収支状況

当連結会計年度における収支の状況は、コールセンター業務受注の増加等により、売上高は 659 億 30 百万円と前期に比べ 4 億 15 百万円（0.6%）の増収となりました。デジタル移行促進施策を中心に費用を投下しましたが、営業利益は 56 億 31 百万円と前期に比べ 70 百万円（1.3%）の増益となり、円高に伴う為替差益等により経常利益は 61 億 9 百万円と前期に比べ 2 億 29 百万円（3.9%）の増益となりました。当期純利益は、投資有価証券評価損 2 億円並びに災害による損失 1 億 64 百万円の計上及び前連結会計年度に存在した一時差異の解消により法人税等が増加したことにより、31 億 51 百万円と前期に比べ 13 億 57 百万円（△30.1%）の減益となりました。なお、災害による損失の主なものは、視聴環境を失った蓋然性の高いお客さまに対する視聴料の返還に係るものであります。

③ 平成 24 年 3 月期（2011 年度）通期業績予想

当社グループは、BS アナログ放送が終了となる平成 23（2011）年 7 月に向け、アナログ契約のお客さまのデジタル契約への移行に全力で取り組んでいきます。そして、ハイビジョン・3 チャンネル放送がスタートする平成 23（2011）年 10 月に向け、連続ドラマ W などのオリジナル番組や話題性のある質の高い番組を戦略的に強化し、新規加入獲得に繋げていきます。

平成 24 (2012) 年 3 月期の連結業績見通しにつきましては、売上高 655 億円 (前期比 0.7%減)、営業利益 20 億円 (同 64.5%減)、経常利益 21 億円 (同 65.6%減)、当期純利益 12 億円 (同 61.9%減) を見込んでおります。また、正味累計加入件数は 3 万件の増加、期末累計正味加入件数 254 万 2 千件を見込んでおります。なお、上記予想数値には今次震災による影響を当社グループが現時点で想定しうる範囲で含めております。

株式会社WOWOW 代表取締役社長 和崎 信哉

当資料に記載の業績見通しは、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向などが含まれております。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

平成 23 年 3 月期（2010 年度）決算概況表

2011 年 5 月 13 日
株式会社WOWOW

1. 加入状況

(単位：件)

項 目	平成 23 年 3 月期(2010 年度)決算			平成 24 年 3 月期(2011 年度)予想	
	実 績	前期実績	対前期増減率	予 想 (千件)	対前期増減率
新規加入件数	823,291	754,081	9.2%	760	△7.7%
解約件数	802,056	739,592	8.4%	730	△9.0%
正味加入件数	21,235	14,489	46.6%	30	41.3%
累計正味加入件数	2,511,701	2,490,466	0.9%	2,542	1.2%
アナログ	149,361	477,637	△68.7%	—	—
デジタル	2,362,340	2,012,829	17.4%	2,542	7.6%

2. 連結決算

(単位：百万円)

項 目	平成 23 年 3 月期(2010 年度)決算				平成 24 年 3 月期(2011 年度)予想		
	実 績	収入比	前期実績	対前期増減率	予 想	収入比	対前期増減率
売 上 高	65,930	100.0%	65,514	0.6%	65,500	100.0%	△0.7%
営 業 利 益	5,631	8.5%	5,561	1.3%	2,000	3.1%	△64.5%
経 常 利 益	6,109	9.3%	5,879	3.9%	2,100	3.2%	△65.6%
当 期 純 利 益	3,151	4.8%	4,509	△30.1%	1,200	1.8%	△61.9%

3. 単体決算

(単位：百万円)

項 目	平成 23 年 3 月期(2010 年度)決算				平成 24 年 3 月期(2011 年度)予想		
	実 績	収入比	前期実績	対前期増減率	予 想	収入比	対前期増減率
売 上 高	62,500	100.0%	62,114	0.6%	62,200	100.0%	△0.5%
営 業 利 益	4,177	6.7%	4,549	△8.2%	1,400	2.3%	△66.5%
経 常 利 益	4,746	7.6%	5,095	△6.8%	1,700	2.7%	△64.2%
当 期 純 利 益	2,424	3.9%	4,171	△41.9%	1,100	1.8%	△54.6%

※百万円未満を切り捨てております。

4. 配当の状況（四半期配当は実施していません）

1 株当たり配当金 (期末)	平成 23 年 3 月期(2010 年度)決算			平成 24 年 3 月期(2011 年度)予想	
	実 績	前期実績	対前期増減率	予 想	対前期増減率
	4,000 円	3,000 円	33.3%	3,000 円	△25.0%

(注) 平成 23 年 3 月期の 1 株当たり配当金は、普通配当 3,000 円に一部市場上場記念配当 1,000 円を加えております。